

医療 連携

今年も桜が満開の頃となりました。今回は医療面で連携を取り、利用者様の生活を日々サポートして頂いている方々を紹介致します。

「はじめまして、大津ファミリークリニックの医師の井本博之と申します。大阪府出身で、中高はワンダーフォーゲル部、大学ではヨット部と自然が大好きです。よく話してよく笑ってよくお酒を飲みます。専門科は家庭医療科です。まだ新しい専門分野であり、皆様にはなじみがないかもしれませんが、子供からご高齢の方まで、生活習慣病からお看取りまで家族まるごと全部診る、そんな診療科です。利用者様のお一人お一人が、その人らしく健康な生活を送って頂けるようサポートをさせて頂きます。どうぞよろしくお願い致します。」

大津ファミリークリニック
医師 井本博之

ほろ
あ
ら
わ
い
し
な
い
し
ん

Vol.28

ワンモア訪問看護リハビリセンター大津営業所 理学療法士の小池です。普段はご利用様のご自宅を訪問し、関節を動かす運動や足の筋力をつける運動、ご自宅内を移動するための歩行練習、生活に必要な動作の練習に取り組んでいます。楽日荘との関わりに関しましては、週1回看護師が訪問した時に楽日荘の職員から動作の介助方法が分からないということや病院からの退院後にどのような運動を実施した方が良いのか、またどのようにして楽日荘で過ごしていただいたら良いのかということなどの相談あった時に楽日荘に訪問し、助言や指導を行っております。今後も運動のことや生活上の介助方法の指導などに関わり、楽日荘をご利用の方お一人お一人が楽しく毎日を過ごせるように取り組んでいきたいと思っておりますので、ご家族様も何かありましたら、楽日荘の職員にご相談ください。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

ワンモア訪問看護リハビリセンター
代表者兼、理学療法士 小池

ワンモア訪問看護リハビリセンター大津営業所看護師の渡邊です。訪問看護師として、普段は家で生活している方へ訪問を行なっています。病院とは違って治療を受ける患者様へのお世話ではなく、生活のケアが中心になります。生活を送る中で体調の心配や自分だけでは困っておられる日頃の入浴、排泄、食事のケアを主に行なっています。本人様、家族様が生活の中の不安が少しでも軽減され、日常生活が過ごせることを目標にし、ワンモアとしての理念である一人一人の幸せが現実できる事を目指しております。楽日荘では、週1回定期的に訪問に行ったり、主治医の回診にも同席しております。看護師での体調の確認と適宜、爪切りや浣腸、必要な処置をさせて頂いております。楽日荘での生活が利用者様に安心して過ごせるように、楽日荘の職員さんとのやりとりを行っており、状態変化には主治医との連携を行なっています。毎週、利用者様の笑顔に出会える事を楽しみに訪問させて頂いております。今後とも、宜しくお願い致します。

ワンモア訪問看護リハビリセンター
看護師 渡邊



「オリーブ薬局」では、グループホーム楽日荘に入所された利用者様のお薬のお世話をさせて頂いています。当薬局では、安全・確実にお薬を服用、使用していただくため、服用の必要性・該当性を主治医の先生と検討し、副作用の確認・回避に努めています。また、飲み方や飲みやすい剤型の変更提案をさせて頂いております。

お薬に関する悩みやご相談をいつでもお受けしています。
よろしくお願ひします。

オリーブ薬局
住所：大津市錦織 3 丁目 16 - 20
電話番号：077-522-5005

「ごとう歯科クリニックでは、口腔ケアやお口のリハビリが重要だと考えています。口内環境を整え、嚙んだり飲み込んだりする力を保持することで、様々な病気を未然に防ぎ、食事や会話を楽しめる生活を支えることが訪問歯科の一番の役割だと思っています。

毎週水曜日に往診させて頂いておりますので痛い時だけの往診ではなく、利用者様やご家族様の食事支援、口腔リハビリ運動の指導など、食と口腔を通した健康管理をサポートさせて頂きます。

ごとう歯科クリニック
歯科医 高橋利明



平素は、お力添えいただきありがとうございます。
今年の冬は雪が少なく、通勤するにはとてもありがたかったです。
世間ではインフルエンザが大流行しましたが、楽日荘ではインフルエンザの感染はなく、無事に春を迎えられそうな予感がしています。
楽日荘も14年目を迎えました。これからも利用者様に、楽しく毎日を過ごしていただけるよう、スタッフ一同で支援していきますので、今後ともご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

管理者 園山 陽子



昨年8月に入社しました鈴木と申します。毎日楽しく勤務しております。
楽日荘で安心して暮らしていただけるよう、利用者様それぞれに寄り添ったケアを心がけております。

日々のレクリエーションや外出など、皆様と一緒に楽しめる時間を沢山作っていきたいと思います。

よろしくお願いいたします。

2階（風） 鈴木 肖子



平成最後のほんわか通信を書くにあたり悩んでおりましたが、ちょうど小学4年生になる息子が学校で2分の1成人式（＝20歳の半分の10歳）がありましたのでその事を絡めて。

息子が2分の1成人式を終えて書いた感想がこちら

「人と出会い支えられていることをどんなときでも実感し、相手を悲しませるようなこと、いやなことがないようにしていきたい。助けてもらったから自分も助ける、ではなく、自分から人を助けていく。お礼なんかいらぬ。人が笑顔になればそれでいいと思う。このようなことを大切に人と関わっていきたいと思う。」

とても我が子とは思えない（笑）文面ですが、よくよく考えれば至極当たり前のようにも思えます。人と人との繋がりが希薄になりがちな現代ですが、自分も楽日荘も元号が変わろうがこれから先もずっとこのような事が当たり前にと実感した次第です。

利用者さん・家族さんはもちろんの事、楽日荘に関わる全ての方々に感謝し皆が笑顔になれるよう職員一同頑張って参りますのでよろしくお願い致します。

※ 余談にはなりますが、8年程前から内玄関に入る所に写真の色紙が飾ってあります。

楽日荘に入る時には皆、笑顔になって欲しいという想いから、当時の自分が、楽日荘の看板やこのほんわか通信という字体を書いていた作家さんに依頼したものです。これを読んでいただいた方々には、是非楽日荘に入る前に一度目を通し、笑顔になっていただければ・・・と、こちらもよろしくお願い致します。



施設長 佐々木 直人



楽日荘では、楽日荘や介護の分野で働きたい方、楽日荘での暮らしをご覧になりたい方を対象に、現在、月1回ペースで「施設見学会」を開催しております。見学会以外の日でも、楽日荘の見学や介護のご相談は随時受け付けておりますので、お気軽にご連絡ください。

【編集後記】

今回「ほんわか通信」を作成するにあたり、年度末を控えお忙しい中コメントを引き受けて下さった大津ファミリークリニックの井本先生、ワンモア訪問看護リハビリセンターの小池先生、看護師の渡邊様、オリーブ薬局様、ごとう歯科クリニックの高橋先生にこの紙面をお借りしてお礼申し上げます。利用者様が日々穏やかに暮らせるよう、今後ともよろしくお願い致します。

広報委員一同

株式会社 ランガ・グード社
認知症高齢者 グループホーム

楽日荘
らくじつそう

<http://www.rakujitusou.com/>